

「大活字本」をご利用ください

“小さな文字を読むのが苦手で”、という方々には「大活字本」がおすすめです。文庫本の約5倍の文字の大きさと読みやすくなっていて、高齢の方や弱視などで字が見えにくいという方に、たいへんやさしい本といえます。

9月に開設した“荒松文庫”^{*}にも96冊の大活字本が並んでいます。そのうちの6冊は、「白黒反転本」で紙面がまぶしく感じないように黒地に白色の文字で書かれた本で、さらに文字がはっきりしています。

「大活字本」「白黒反転本」を一度手にとってごらんください。

みなさまのご利用をお待ちしています。

^{*}荒松文庫とは、大山町議会へ故荒松廣志議員のご家族から寄付の申し出があったものを、「町民のみなさんに役立つものを」ということで、図書館がいただいて開設したコーナーです。



白黒反転本とは

わたしは

<休館のご案内>

図書館本館は、館内の書架の整備を行います。そのため下記の期間中休館します。ご不便をおかけしますが、よろしくお願ひいたします。休館中は名和分館・大山分館をご利用ください。なお、期間前に貸出数をお一人10冊に増大します。

- 休館期間 11月14日(月)～16日(水) 本館のみ
- 貸出増大期間 11月8日(火)～13日(日) 全館

10冊に増大

司書おすすめの本

『炭鉱に生きる』地の底の人生記録 山本作兵衛著 (講談社)

山本作兵衛が、明治から昭和にかけての炭鉱生活を描いた589点の絵画と108点の日記などが、日本初の「世界記憶遺産」(ユネスコ認定)として、今年5月に登録されました。

7歳から半世紀を炭鉱に生きた作兵衛は、晩年独学で絵筆をにぎり、過酷な炭鉱労働や日常生活をひたすら書き残しました。「地の底の人生記録」と題されたこの画文集は、見る人の心をゆり動かすものがあります。(か)



図書 のご案内

一般・文学

- ★柿のへた/梶よう子
- ★神君家康の密書/加藤廣
- ★ゆきの、おと/井沢満
- ★緑の毒/桐野夏生
- ★宮沢賢治 10の予言/石寒太
- ★星火瞬く/葉室麟
- ★風を見にいく/椎名誠
- ★まともな家の子供はいない/津村記久子
- ★マスカレード・ホテル/東野圭吾
- ★モンド氏の失踪/ジョルジュ・シムノン

その他

- ★これならわかる日本の領土紛争/松竹信幸
- ★中高生からの平和憲法 Q&A/高田健・館正彦
- ★月と暮らす。/藤井旭
- ★アンドロイドを造る/石黒浩
- ★「ぐずぐず」の理由/鷺田清一

児童書・絵本

- ★きらめきハートのドレス/あんびるやすこ
- ★津波！！稲村の火その後/高村忠範
- ★ねこのせんちょう/マドレーヌ・フロイド
- ★ふゆのゆうがた/ホルヘ・ルハン